

投資事業評価調書（新規）

部課室名	農林水産部 農林水産局 治山課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	課長 元井 賢一 (課長補佐兼林道係長 山田 要治)	内線 (4134)	4128
------	-----------------------	-------------------------	-----------------------------------	------------------	------

事業種目	林道整備	事業名	事業区間	総事業費	約3億円	
		流域公益保全林整備事業	河江・頃垣線	内用地補償費	-	
所在地				事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
城崎郡 日高町 河江～頃垣				H17	H17	H20
事業目的			事業内容			
<p>日高町河江と頃垣を結ぶ森林管理道を整備し、木材生産、林業振興のみならず、適正な森林整備を行い、水源かん養、山地保全など森林の多面的機能の持続的発揮及び山村地域の活性化・振興を図ることを目的とする。</p> <p>事業主体：日高町</p>			<p>林道開設 W=4.0m L=2,100m</p> <p>(河江地区 国 50%、県1%、町49%) (頃垣地区 国 45%、県1%、町54%)</p>			
評価視点	評価結果の説明					
(1)必要性	<p>当該事業は、日高町河江（2級町道）を起点とし、終点日高町頃垣（県道 八代・石井線）を結ぶ林道整備事業である。</p> <p>当該地域は豊富な森林資源を備えているが、木材価格の低迷等により手入れが不十分な森林が増加している。このため、日高町は、日高町森林整備計画により森林施業の指針を定め、それに基づく当該地域での森林施業計画を認定し、それを計画的に実施していく等、積極的に森林整備を進めている。</p> <p>これらの計画を実施するためにも、低コスト林業経営の展開、適正な森林整備、森林資源の整備拡充に不可欠な林道整備を早急に行う必要がある。また、当該事業は、地元集落からの強い要望を踏まえ、全体計画のうち各年度の事業計画を定めて計画的に行われるものであり、事業実施の必要性は高い。</p>					
(2)有効性・効率性	<p>当該事業の費用便益比はB/C = 1.59となっており、高い事業効果が期待できる。</p> <p>当該事業計画は市町計画段階で十分に検討されており、事業施行地の土地所有者も意欲的である。また、当該事業を実施することにより、効率的な森林施業が可能となり、事業の有効性は高い。</p>					
(3)環境適合性	<p>日高町が単独で実施した調査によると、当該地域には貴重種とされる動植物は存在していない。</p> <p>事業の実施に当たっては、地形に沿った線形とすることにより、切土・盛土量のバランスを図り残土を極力少なくし、切土法面を極力小さくする。また、郷土樹種を使用した法面保護工等により景観・環境の維持に重点をおいた工法を用い、自然環境の保全を図る。</p>					
(4)優先性	<p>木材価格の低迷等により手入れが不十分な森林が増加しているという状況、市町計画、各種法令に基づく手続きの整備等、事業計画の精度は高いものとなっている。また、早急に林道の整備を行わなければ効率的な森林施業は困難であることから、事業の優先性は高い。</p>					